

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	政策推進部
部(局)長	市川 信行
総合政策監	山口 智弘(行財政健全化担当)
危機管理監	渡辺 敏弘(危機管理担当)

【基本姿勢】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策についての企画・調整をはじめ、市民からの情報を受け止め、市民への情報発信を行うなど、市民との情報交流、市を動かすための職員に関する人事管理等を行っています。

全国的に少子高齢化による人口減少や地方経済の衰退が進む中で今後もにぎわいや活力ある市としてあり続けるために、困難を極める財政面の健全化や多様化する市民ニーズに応えられる施策に取組み、市政の情報を多様な広報媒体で積極的に発信することで、市民と協働した行政運営に努めてまいります。

危機管理につきましては、災害からの被害を最小限に留めるため、自助・共助の意識を育むとともに、地域自主防災組織への活動支援を行い、地域防災力を高めます。

また、地域防災の要である消防団の災害対応技術の向上を図るとともに、柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携し、消防・防災体制の強化を図ります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	知名度アップと交流人口や定住人口の増加に関する取組の推進	B
2	第5次柏原市総合計画の策定	B
3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとする各種SNSなど多様なメディアを活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化	B
4	働き方改革に関する取組の推進	B
5	会計年度任用職員制度の円滑な導入	B
6	地域防災力の向上	B
7	消防団の災害対応技術力の強化	B

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 1	知名度アップと交流人口や定住人口の増加に関する取組の推進
--------	------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	減少傾向にある人口に歯止めをかけるとともに、地域資源の再発見や創出を行い、魅力ある情報を広く市外の方々にも発信することにより、観光などを入口とした流動人口や定住者の増加に繋げていきます。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
民間企業への積極的なアプローチを行い、地域資源の活用による地域活性化を図ります。	柏原市の地場産業や自然環境と親和性の高い民間企業へ積極的にアプローチを行い、営業拠点の設立や営業活動の意向、公民連携による事業展開等について意見を交換しました。
大学生との協働により、地域資源の新たな活用方法や効果的な魅力発信方法などを研究します。	大学の協力を得て、ゼミや授業と連携し、地域資源の活用方法や課題解決策について、担当部署を交えながら、研究を重ねました。そして、その成果として、参加した学生から活用方法等について様々な提案をいただきました。

達成目標	達成状況	達成度
地域資源を活かして、交流人口や定住人口の増加に繋がります。	民間企業によるイベントの企画や営業拠点の設立に向けた現地視察等、アプローチを通じて本市に魅力を感じられた民間企業の動きが出てきており、交流人口の増加が期待できます。	C 一部達成
若者の視点に立てることができる本市の知名度アップを行います。	SNSを活用した地場産業活性化の取組や地域課題の解決策の提案等、大学生の視点を活かした事業提案を受けることができました。 中には、令和2年度に事業実施が決定された取組もあり、今後、知名度アップが期待されます。	A 達成

総合評価・総括
<p>知名度アップや交流人口・定住人口の増加に向け、ステークホルダー（関係者）の新規獲得や関係性を深める活動をすることができました。</p> <p>今後も、同様の取組を継続させながら、協働事業の実施等、産学官連携の相乗効果が期待される取組を実施してまいります。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 2	第5次柏原市総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第5次柏原市総合計画を策定するにあたり、柏原市の未来を市民の皆様と一緒に考えて作り上げ、時代に即した計画となるよう、策定作業に取り組めます。
---------------------	--

活動目標
市民参加型ワークショップを開催し、総合計画策定に当たって市民から直接意見をお聴きします。

具体的な取組実績
令和元年6月に“柏原市の未来”を考える市民ワークショップを開催しました。 また、令和元年11月に子育て世代向けとして、「ほっとステーション」と「たまたまはこ」でミニワークショップを開催しました。

達成目標
市民主体のまちづくりを実行します。

達成状況	達成度
令和元年6月の市民ワークショップは公募により33名、令和元年11月の市民ワークショップは2箇所合計16名に参加いただきました。 これらの意見は報告書にまとめ、総合計画審議会における議論の資料として活用しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
市民から意見を直接聴く機会として市民ワークショップを開催し、数多くの意見をいただいたことで、総合計画策定における市民の意見を反映することができました。 次年度においては、総合計画の基本構想、基本計画策定において、これらの意見をより活かせるように各施策目標や施策の内容を検討する際にも活用してまいります。 また、総合計画案については、市民向けのパブリックコメントを実施し、市民意見を取り入れてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとする各種SNSなど多様なメディアを活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民一人ひとりに柏原市に誇りと愛着を持ってもらい、その方々から柏原市の魅力を市内外に推奨していただくとともに、魅力あるまちづくりや地域活動に積極的に参画する気運の醸成に努めます。
---------------------	---

活動目標
柏原市の魅力発信及び定住促進をねらい、PR用冊子を作成します。
公式ノベルティグッズとして注染手ぬぐいを作成し、柏原市の伝統産業の振興や魅力発信に寄与します。

具体的な取組実績
柏原市の持つ歴史や自然等の魅力を網羅したPR冊子と人口増加に向け、主に子育て世代をターゲットにした移住促進用冊子を新たに作製し、特に移住促進用冊子については、大阪府宅建協会の協力を得ながら市内外の不動産事業所で活用いただくよう配付を行いました。
柏原市の伝統産業の更なる振興と魅力発信のために市オリジナル手ぬぐいを作製し、染色の魅力を様々な機会に発信しました。 また、その作製にあたり、柏原染色加工組合の協力を得るなど、市内染色事業者との連携関係を構築することができました。

達成目標
特に市外の方々に柏原市の魅力を知ってもらい、人口増加を目指すとともに、新たな魅力の発掘と効果的な発信に努めます。

達成状況	達成度
柏原市の染色（浪華本染め）が国の伝統工芸品に指定されたことも後押しとなり、市の魅力を発信する機会も増え、市内外の方に多くの情報をお届けすることができました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>今年度は、市の魅力を直に伝えるための新たな冊子やグッズといったツール作製を重点的に実施することができ、これまでになかったプロモーションに着手するに至りました。</p> <p>また、徹底してSNSを活用した魅力発信を行うことにより、確実にフォロワー数の獲得にも至っており、そのコメントからも、市への愛着や誇りの醸成に一定の効果が得られているものと考えております。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 4	働き方改革に関する取組の推進
--------	----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	質の高い行政サービスの提供に向けて、職員が心身の健康を維持し、持てる力を十分に発揮できるようにワーク・ライフ・バランスの向上に取り組めます。
---------------------	--

活動目標
職員個々の勤務時間を適切に管理していくとともに、時差出勤や完全退庁時間の徹底により、長時間労働の是正に努めます。
庁内報等を通じて、有給休暇の取得を促します。

具体的な取組実績
完全退庁時間や時差出勤制度の活用等を周知するとともに、各所属長に対して適切な超過勤務命令の徹底を指示しました。
庁内報や説明会にて働き方改革の趣旨に沿った有給休暇の計画的な取得を周知し、取得状況調査の実施・公表を行いました。

達成目標
災害への対応や重要・緊急性の高い業務等の例外を除き、職員一人当たりの超過勤務を抑え、全体の超過勤務の縮減を図ります。
有給休暇取得率の向上を目指します。

達成状況	達成度
職場における業務見直し等により、例外を除いた超過勤務時間は前年度より減少させることができました。	B 概ね達成
周知等により、取得率が向上した職場があるものの、全体での取得率はほぼ横ばい状態となりました。	C 一部達成

総合評価・総括
市民の皆様満足いただける行政サービスの提供には、職員一人一人が持てる能力を十分に発揮できる環境の整備が肝要であると考え、長時間労働の削減に繋がる取組を進めてまいりました。 今後も引き続き、取組内容の充実と職員への浸透に努めてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 5	会計年度任用職員制度の円滑な導入
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	令和2年度からの会計年度任用職員制度の開始にあたり、臨時・非常勤職員の適正化と制度整備を適切に行い、円滑に導入できるよう取組みます。
---------------------	--

活動目標
現行の臨時・非常勤職員の多くが会計年度任用職員に移行することに伴い、給与・休暇等の勤務条件や任用方法等について適切な整理と整備を行います。

具体的な取組実績
職員組合との協議内容を踏まえながら、国から示された制度導入の趣旨や手順に沿って勤務条件や任用方法の整理・整備を行うとともに、適宜に情報提供や説明会の開催を通して制度周知に努め、必要な職の募集等を実施しました。

達成目標
会計年度任用職員制度を円滑に導入します。

達成状況	達成度
現行の臨時・非常勤職員からの制度移行に伴う各種整理・整備を完了し、年度当初に必要な任用予定人数をほぼ確保することができました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
職員組合や各職場との合意形成を図りながら制度設計を進めた結果、大きな問題を招くことなく制度導入に向けて準備することができました。 今後も国や近隣団体の動向に注視し、制度の充実に向けてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 6	地域防災力の向上
--------	----------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大きな自然災害が発生することを想定し、被害を最小限に留めるよう、自助と共助の重要性を再認識して、自主防災組織への支援に努めます。
---------------------	--

活動目標
地域自主防災組織の活動の活性化を促進します。
洪水害、土砂災害等、各地域の災害実情に応じた訓練を実施します。

具体的な取組実績
柏原市消防団、柏原羽曳野藤井寺消防組合協力のもと、地域の自主防災訓練を14回実施しました。
自主防災訓練にてハザードマップの解説を行い、各地域の災害リスクへの理解を促しました。 また、洪水害を想定した図上訓練を実施しました。

達成目標
平時から地域住民が連携し助け合うことにより、災害時には被害を最小限に抑えられるように進めます。
避難等に関する知識を持ってもらうことで、災害時における避難行動が迅速かつ的確になります。

達成状況	達成度
自主防災訓練では、会場となる地域の小中学校等が指定避難所等となっているため、集団での避難訓練が行われるとともに、地域住民の連携強化が図られました。	B 概ね達成
令和元年6月から運用開始された「警戒レベル」を用いた避難情報の発令について、各地域の自主防災訓練で説明及び啓発冊子を配布し、市民への周知を行いました。	B 概ね達成

総合評価・総括
一部の自主防災組織では、訓練メニューを組織で全て取組むことや、訓練の企画内容にも地域特性における活動が実施されました。 市においても、ハザードマップや避難情報の説明を行い、「自助・共助」の必要性や防災知識の周知等の活動支援を行いました。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 7	消防団の災害対応技術力の強化
--------	----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害発生時において迅速な対応が行えるよう、災害対応技術の強化を図ります。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
技術の向上を図るため、講習会や災害対応訓練等を実施します。
地域自主防災訓練において、地域住民に災害対応技術の指導等を行います。

具体的な取組実績
柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携し、土砂埋没要救助者の捜索及び救出訓練を実施しました。
消火器取扱い、簡易担架作成、保温止血及び救命講習(AED)について、消防団員が訓練参加住民へ指導しました。

達成目標
更なる技術の向上により、災害時における市民の安全確保を図ります。
消防団と地域の連携が図られ、地域防災力が強まります。

達成状況	達成度
近年、災害が激甚化する中、本市においても起こりえる土砂災害を想定した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図りました。	B
消防団が自主防災訓練等に参加することで、地域とのつながりが深まり、大規模災害時に備えた地域防災力の強化が図られました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
今年度は、土砂災害に対応した消防団の技術力強化を図る訓練を実施しました。引き続き、水防訓練、エンジンカッター等資機材取扱訓練を実施し、多様な災害に備えた消防防災体制の強化充実に取り組みます。

令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	総務部
部(局)長	脇田 直行
理事	瀬田 友之(庁舎整備担当)

【基本姿勢】

総務部では、市が所有する情報資産のセキュリティ対策や職員が執務を行う上で基盤となる法務能力の向上を図る取組みを行ってまいります。

また、公用車等の管理及び循環バスの適正運行により市民生活の利便性の確保に努めてまいります。

さらに、「柏原市公共施設等総合管理計画」等に基づき、公有財産の有効活用を図るとともに、新庁舎整備については、令和3年3月の建物完成、10月の駐車場整備完了を目指し、本年7月に教育センター棟の解体、10月に新庁舎建設に着工します。

【達成度について】

A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)

B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)

C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)

D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)

E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	職員の法務能力の向上に努めます。	B
2	市内循環バスの適正な運行と利用促進に努めます。	C
3	公有財産の有効活用を図るための取組を推進します。	A
4	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。	B

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 1	職員の法務能力の向上に努めます。
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	複雑・多様化する行政事務について、市職員として迅速に対応できるよう、知識の修得と職員の政策法務能力の向上に取り組めます。
---------------------	--

活動目標
職員を対象に職務を執行する上で基礎となる、地方自治法等の法務研修を実施します。
係長級以上の管理職を対象に法務研修を実施します。

具体的な取組実績
総務課職員により地方自治法の基礎的な研修を令和元年11月と12月に行いました。
総務課職員により管理職員を対象として、民法を中心とした法務研修を1月29日に2回行いました。

達成目標
行政事務を執行する上で、必要とする知識の修得を目指します。
行政事務を統括する上で、政策の形成と地域の課題解決のために必要な法務能力を身に付けることを目指します。

達成状況	達成度
地方自治体の職務を遂行するために必須となる事項について研修を行い、遂行する職務とその根拠となる法令の関係について再認識する機会を作ることができました。	B 概ね達成
管理職員にとって政策形成と課題解決のために必要となる、令和2年4月に改正される民法を中心に研修を行い、法務能力の重要性について再認識する機会を作ることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>複雑・多様化する行政事務について、市職員として迅速に対応できるよう、知識の習得と政策法務能力の向上に取組み、若手職員を対象とした地方自治法の基礎的な知識を得るための研修を2回、管理職員を対象とした、改正民法の解説を中心とした政策法務能力を向上させるための法務研修を2回行いました。</p> <p>今後も継続して研修を行い、行政事務を遂行する上で必要とする知識のさらなる向上を目指します。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 2	市内循環バスの適正な運行と利用促進に努めます。
--------	-------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	現在の運行状況を精査分析することにより、適正なバスの運行に努めるとともに、より一層市民の皆さまの利用促進を図ります。
---------------------	--

活動目標
バスのダイヤを一部見直すことにより、利便性の向上を図ります。

具体的な取組実績
令和元年9月にダイヤを見直すことにより、定刻どおりの運行が可能となりました。

達成目標
利便性の向上により、「市民意識調査」における「満足度」を向上させます。

達成状況	達成度
令和元年度市民満足度調査の満足度においては、平成30年度に比べて「交通網」において0.07ポイント、「市民サービス」において0.08ポイントマイナスとなっており、取組みが満足度の向上につながっていない状況となっています。	C
	一部達成

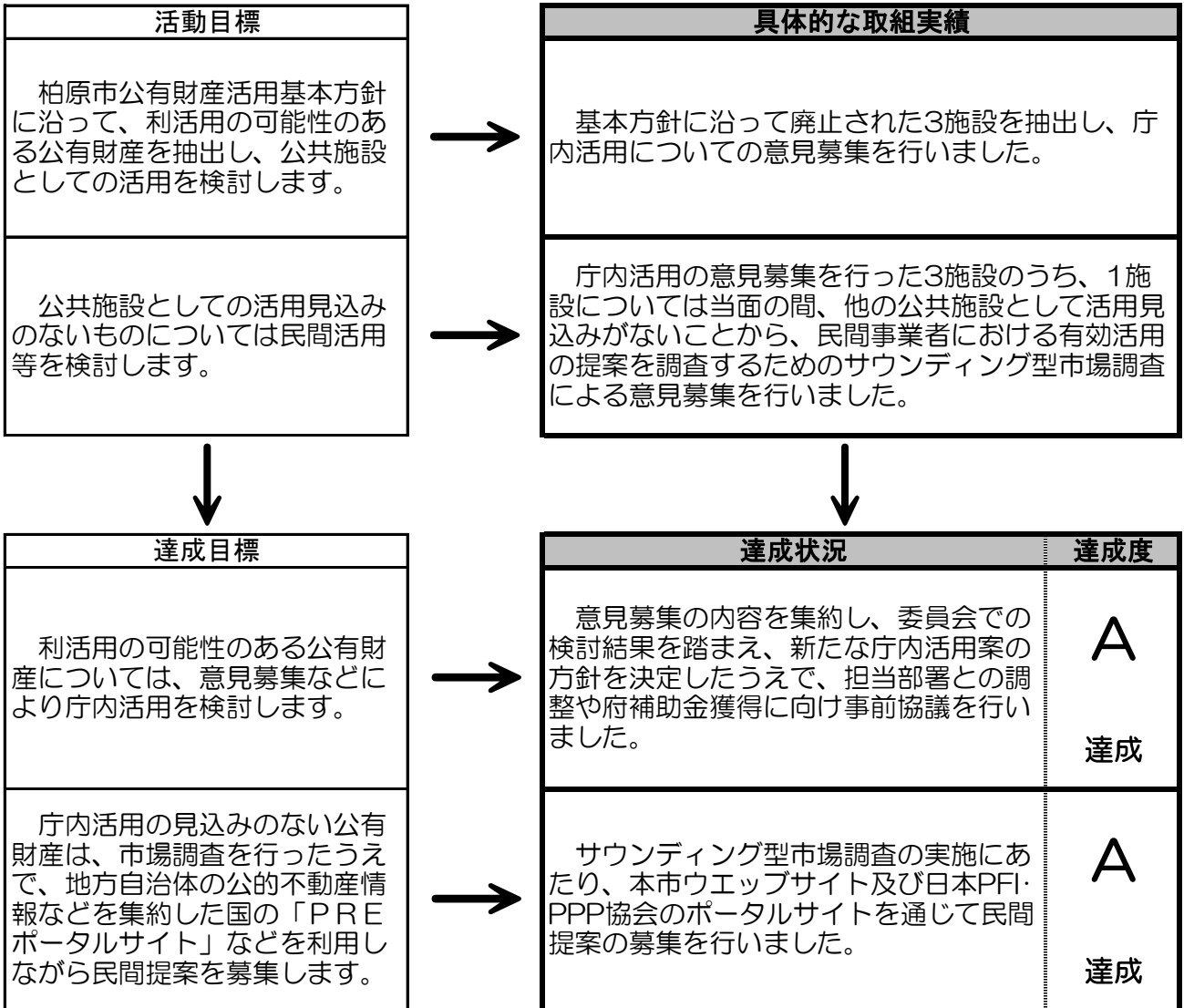
総合評価・総括
市内循環バスの待ち時間を解消するため、令和元年9月にダイヤ改正を行いました。これが市民満足度の向上につながっていないため、引き続き市民にとって市内循環バスがより利用しやすいものとなるよう、取組み方法の検討を進めてまいります。

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 3	公有財産の有効活用を図るための取組を推進します。
--------	--------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「柏原市公共施設等総合管理計画」等に基づく公有財産の統合や複合化に伴い、利用しなくなる余裕財産の庁内活用、民間活用等の検討を進めます。
---------------------	---



総合評価・総括
<p>公有財産活用基本方針に則り、廃止された3か所の施設について、庁内活用の提案募集を行い、2施設については他の公共施設として活用することとしました。</p> <p>残る1施設についても庁内活用検討後、サウンディング型市場調査により民間提案を募集し、概ね活動目標としては達成できたと考えるが、建物が古く接道していない等の理由により、具体的な活用には至っておらず、今後の課題です。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 4	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。
--------	---------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害に対する防災拠点機能を兼ね備えた新たな庁舎を整備することにより、市民の安全と安心を守り、市民交流を促進することで地域の活性化を図ります。
---------------------	--

活動目標
教育センター解体工事、実施設計を完了し、新庁舎建設工事に着手します。
新庁舎建設に関連して、オフィス環境や電気通信などの整備について業務委託発注を行います。

具体的な取組実績
教育部棟解体工事及び同監理業務については6月に契約を行い、9月末に完了しました。 また、実施設計については、建築基準法など関係法令に必要な申請・許可等を行うとともに、11月末に実施設計を含む設計業務を完了しました。
オフィス環境整備業務については、公募型プロポーザルにて、10月に公募開始し、11月に事業者を選定して業務を発注しました。 上記業務以外の業務については、コンストラクション・マネジメント業者と仕様等の内容を精査し、令和2年度の発注準備を行いました。

達成目標
教育センター解体工事に着工できるように、仮庁舎に関連部署を移転します。 また、実施設計に伴う必要な申請業務を行い、新庁舎建設工事の早期着工を目指します。
机や棚などの什器の配置計画や電話・LAN等の整備計画を立案し、新庁舎建設工事との連携・調整を図ります。

達成状況	達成度
教育部棟の部署は、6月末に仮庁舎となる旧ハローワークへ移転しました。 設計業務については、環境保全調査の結果、アスベストなどの対策工事が必要となり、検討のため業務期間の変更を行いました。10月から新庁舎建設工事の準備工事に着手しました。	A 達成
什器備品については整備計画書及び新庁舎各フロアのレイアウトプランの概要を作成し、新規什器購入に必要な概算費用を算出しました。 電話・LANなどの業務についても概算費用を算出し、発注時期や作業スケジュール案を作成しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>庁舎施設整備事業における設計・工事については、設計施工一括発注方式により取り組んでいます。この設計業務において詳細な調査の結果、アスベストなどの環境保全対策工事が必要となり、駐車場整備完了は令和4年3月末の見込みとなりましたが、新庁舎建設は当初予定の通り令和3年3月末の完成を目指し、鋭意進捗を図っています。</p> <p>令和元年度は教育部棟の仮移転・解体、新庁舎設計業務を完了し、令和元年10月より新庁舎建設工事に着手しました。令和2年度も引き続き、什器・備品、電話等の購入計画や防災無線等の移設、引越し計画など新庁舎整備に関わる様々な協議・調整等を行います。</p>

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	財務部
部(局)長	福井 浩

【基本姿勢】

本市では、行財政健全化戦略などの取組により、一定の財政効果をあげてはいるものの、人口減少などによる市税の減少が予測されるなか、社会保障費などの義務費の増大や必要不可欠な事業への対応を行っていくためには、一層の財政規律の確立が必要となります。

このような中、財務部では、引き続き歳入の確保を図り、将来計画を踏まえた効率的で持続可能な財政運営に努めるとともに、契約事務においては、競争性を確保しながら、より一層公平で適正な執行を行ってまいりたいと考えております。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立	B
2	市税の公平で適正な課税及び徴収	B
3	適正な入札及び契約の執行	A

部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な行財政運営を確立するため、歳出の抑制を図り、財政調整基金に頼らない収支の均衡を目指します。
---------------------	--

活動目標
平成30年度決算について予算に対する執行率の検証などを行い、次年度の予算編成に活かします。
公債費や起債残高の推移の検証などを行い、今後の起債の発行について検討します。

具体的な取組実績
令和2年度予算の編成にあたり、各事業課に対し、予算要求額の算出については実績・実態に見合った適正な額とするよう要請しました。
庁舎建設に伴い予定される多額の起債発行を見込み、償還シュミレーションを更新しました。 また、新たな起債の発行にあたり、充当する事業の個々の内容について、交付税算入される優良な起債の対象事業に合致するか否かの検証を行いました。

達成目標
臨時的な経費を除いた歳出経費の圧縮を行います。
交付税に算入される優良な起債の選定を行うなど、後年度負担の軽減を図ります。

達成状況	達成度
令和2年度の予算要求額について各事業課とヒアリングを行い、平成30年度の決算状況や令和元年度予算の執行状況等を踏まえてさらに精査を行うことにより、歳出予算額の縮小を図りました。	B 概ね達成
令和元年度に起債を発行する13の事業のうち、7事業が交付税に算入されることとなりました。また、今後3年間は公債費が増加傾向となる見通しのため、新たな起債の抑制に努めました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>令和2年度当初予算は、令和元年度予算と比べると、新庁舎の建設工事が佳境を迎えることから投資的経費が約12.0億円の増となり、総額では約14.9億円の大幅な増となりましたが、上記の取り組みにより、一般財源ベースは約4.4億円の増に抑えることができました。</p> <p>税収の伸びが見込めない一方で、庁舎の建設や老朽化した施設の改修などの投資的経費の増や社会保障経費の増が見込まれ、今後も厳しい財政運営が続きますが、歳出の抑制や公債費の適正管理など、財政調整基金に頼らない収支の均衡を目指した取組みを継続して進めてまいります。</p>

部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>市税は、市の歳入の根幹であり、市民サービスを賄うための貴重な財源です。課税客体を把握し、公平で適正な課税を行います。</p> <p>また、自主納付の啓発と公平・適正な徴収となるよう滞納整理に取り組み、収納率の向上を図り、税負担の公平性を確保します。</p>
---------------------	---

活動目標
<p>課税調査による課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。</p>
<p>滞額解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行います。</p> <p>また、滞納事案については、厳正な滞納整理を推進し、市税の適正な確保に努めます。</p>

具体的な取組実績
<p>給与支払報告書未提出事業所への提出催告（22件）、法人市民税未申告法人等への課税調査（70件）、償却資産未申告事業所への課税調査等（229件）を実施しました。その結果に基づき、合計33,086,200円の市税を新たに課税しました。</p>
<p>滞納となった場合に、督促状・催告書を送付し、早期の納税相談を行い、自主納付を促しました。それでも自主納付に至らない場合には、財産調査による滞納処分を執行し、滞納額の縮減を図りました。</p>

達成目標
<p>平成30年度の収納率を上回ることを目指します。</p>
<p>現年度課税分及び滞納繰越分の収入未済額の縮減を目指します。</p>

達成状況	達成度
<p>令和2年2月末時点の市税収納率は87.2%で、昨年同時期の87.3%との差は0.1ポイントであり、同水準となることから、概ね目標どおり達成できました。</p>	<p>B</p> <p>概ね達成</p>
<p>令和2年2月末時点の滞納繰越分の収入未済額は83,895,255円で前年度から31,306,254円の減少となっています。</p> <p>なお、現年度課税分については、調定額・納期限の関係で額及び収納率での比較が困難ですが、収納率が87.9%であり、昨年同時期と同水準となります。</p>	<p>A</p> <p>達成</p>

総合評価・総括
<p>課税調査を実施した結果、固定資産税の償却資産において大規模な課税ができたことから、新たな課税額を平成30年度（16,593,200円）よりも約99.4%増やすことができました。</p> <p>また、滞納者に対する早期の納税相談及び財産調査に基づく公平公正な滞納整理により、収納率の向上及び滞納額の解消を図ることができました。</p> <p>今後、出納閉鎖まで、収納率向上に向け、引き続き取組を進めてまいります。</p>

部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 3	適正な入札及び契約の執行
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	契約事務における透明性・公正性・競争性などの確保とともに、特に建設工事においては、昨年度に引続き、入札参加条件として元請業者及び一次下請業者に社会保険等の加入を求めるなど、担い手の育成を視野に入れた入札を取り入れていきます。
---------------------	--

活動目標
今年度は、令和元・2年度の新たな業者登録による入札参加有資格名簿を作成したため、前年度に引続き、建設工事の入札に参加する場合には、社会保険等の加入を条件にするとともに、受注者には、社会保険等未加入業者を下請人とししない旨の「社会保険等に関する誓約書」の提出を求めます。
入札及び契約内容の透明性を確保するため、入札等監視委員会を開催します。

具体的な取組実績
建設工事請負業者（元請）のみならず下請業者の社会保険等の加入をも徹底させるため、工事公告の際、社会保険等の加入を入札条件とするとともに、契約締結時には、「社会保険等に関する誓約書」の提出を求めました。 また完成検査においては、施工体制台帳で加入の確認をしました。
令和元年度においては、7月12日、11月22日、3月25日に開催しました。

達成目標
建設工事の受注者には、1次下請業者はもちろんのこと、2次以下の下請業者においても社会保険等の加入を促進します。
入札等監視委員会からいただいた意見については、入札・契約制度改善検討委員会等に諮り、より公正・公平な入札契約制度を構築します。

達成状況	達成度
令和元年度に入札により発注したすべての建設工事（57件）について、請負業者、下請業者の社会保険等の加入を施工体制台帳により確認できました。	A 達成
3回にわたり、工事84件・物品45件、業務委託240件の中から抽出した案件について、外部委員による審議の結果、問題となる事案は認められず、意見の具申や是正の勧告等はありませんでした。	A 達成

総合評価・総括
今年度の活動目標のひとつであった契約事務における透明性・公正性・競争性などの確保については、入札等監視委員会が開催時間の制約上、1回の委員会において審議できる案件が膨大な対象案件から抽出された30件程度であることから、委員による案件の抽出に要する期間を約2週間と十分とることにより、抽出されない案件についても十分に内容を確認いただくことができましたと考えています。 また、請負業者及び1次下請業者の社会保険等の加入については、入札の公告、契約、完成検査でのタイミングで周知、確認を徹底することにより目標を達成することができました。

令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	市民部
部(局)長	西戸 浩詞
理事	山口 伸和(環境対策担当)

【基本姿勢】

市民部には、戸籍、住民基本台帳や人権、環境などを所管する市民生活に関わりが深い部署と、にぎわいのあるまちづくりのために産業の振興や地域との協働を推進する部署があります。

まず市民課では、市民の方々に寄り添った、親切かつ丁寧な対応を基本に迅速で質の高い窓口業務を提供することにより、市民満足度の向上に努めます。

人権施策については、人権が常に尊重される地域社会の実現に向け、部落差別やヘイトスピーチの解消などへの啓発や相談体制の充実に取組みます。

環境施策については、ごみの減量化を進めるとともに、地域のリサイクル活動を支援します。また、関係機関と連携し、河川の水質改善に努めます。

産業の振興については、地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのさまざまなPRを通じて、現在すでにある柏原の魅力的なまち・ひと・しごとをつなぎ合わせることで活性化を図ります。

また、豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域の活性化を図ります。

さらに、にぎわいのあるまちづくりのために、現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、地域と一体になって防犯カメラやLED防犯灯の設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。

これらにより、「日本一住みたいまち柏原」に一步でも近づくよう、知名度アップと交流人口や定住人口の増加を目指し、一人でも多くの方が本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度達成状況
1	市民の利便性の向上	B
2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けて、より一層の周知・啓発等の推進	B
3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】	B
4	農業・商業・工業の振興	B
5	地域資源の活用による交流人口の増加	B
6	防犯対策の推進	A

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 1	市民の利便性の向上
--------	-----------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民の利便性の向上とマイナンバーカードの普及を促進します。
---------------------	-------------------------------

活動目標	具体的な取組実績
市民の利便性が向上するコンビニ交付サービスについて、多くの方が利用できるよう取組みを行います。	コンビニ交付サービスについては、広報誌や市ウェブサイトなどで周知を図りました。 また同サービスの利用に必要なマイナンバーカードについては普及を促進し、カード交付時に今年度作成した『ご利用ガイド』の冊子を渡し、コンビニ交付サービスの説明を行いました。
コンビニ交付サービスの利用に必要な、マイナンバーカードの更なる普及を目指します。	マイナンバーカードの更なる普及については、新たに本庁でカード申請用写真の無料撮影場所を常設しました。 またカードを所持する方が対象となるマイナポイント予約についても、制度周知に努め、カードの受け取り時など窓口で支援を行いました。
達成目標	達成状況
コンビニ交付サービスの利点について、継続的に周知を行い、休日開庁やマイナンバーカードの申請・交付に関して、窓口でのわかりやすい説明を行います。	コンビニ交付サービスの利点について、広報誌や市ウェブサイトなどで周知を図りました。 またマイナンバーカードの申請・交付時にマイナポイント予約の支援を含み丁寧に説明を行いました。
マイナンバーカードの人口に対する交付率20%を目指します。	マイナンバーカードの普及について、周知や休日開庁を継続して実施し、新たに本庁でカード申請用写真の無料撮影場所を常設したが、目標の交付率に達しませんでした。 しかしながら、令和元年度は年度として初めて3,000名を超える市民の方にカード交付を行いました。

総合評価・総括
<p>マイナンバーカードの普及については、周知を行うとともに平日にカードの受け取りが難しい市民の皆様を対象に継続的に休日開庁を行いました。またカード申請用写真の無料撮影も休日を実施しており、昨年5月からは本庁で常設の撮影場所を設けてカードの取得促進に努めました。その他、マイナポイント予約についても、制度周知に努め、カードの受け取り時など窓口で支援を行いました。</p> <p>今後は、マイナポイントや健康保険証利用に対応できるなどの多目的利用を見据え、新たにカード申請用写真の無料撮影サービスを市内企業などに出向き実施できるように検討を進め、引き続き取り組んでまいります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けて、より一層の周知・啓発等の推進
--------	---------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	部落差別をはじめ、様々な人権課題についての周知・啓発等の推進と相談体制の充実を図ります。
---------------------	--

活動目標
<p>広報、市ウェブサイト及び市内公共施設等や各種行事を活用した啓発活動に加え、柏原市人権協会や大阪法務局などの関係機関と連携した啓発活動の更なる充実を図ります。</p> <p>また、相談窓口担当者連絡会議を活用し、相談体制の充実を図ります。</p>

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・女と男のフォーラムや平和展などの人権に関する行事や総合フェスティバルで関係機関と協力して啓発チラシ等を配布 ・成人式で啓発リーフレットの配布 ・人権いろいろ相談の実施 ・相談員は毎年大阪府人権協会等が開催する研修、講座等を受講し、大阪府人権協会等の関係機関と連携した対応 ・相談窓口担当者連絡会議を開催し、困難事例などの情報交換等を実施 ・啓発パネルをフローラルセンターで常設展示

達成目標
市民意識調査の「人権教育」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民意識調査の満足度は前回値から微減してはいますが、継続的な啓発に努め、活動目標については概ね達成しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>部落差別をはじめとする人権課題についての周知・啓発、相談事業の充実などについて、様々な機会をとらえて取り組みました。</p> <p>市民意識調査においては前年に比較して満足度が微減しましたが、人権課題への取組は継続することが重要と考えますので、効果的な取組となるよう工夫をしながら続けてまいります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】
--------	-------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ごみの分別、減量及びリサイクルをより一層推進することにより、循環型社会の構築を目指します。
---------------------	---

活動目標
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。
町会や子ども会などによる新聞紙等の集団回収事業を拡大します。

具体的な取組実績
平成30年6月1日から家庭で排出された水銀使用廃製品（蛍光灯、乾電池、水銀体温計）を市内公共施設で拠点回収を開始しています。 【回収拠点】教育センター、K・Iホール、自立支援センター、文化センター、健康福祉センター、玉手浄水場、国分出張所、国分図書館、堅上出張所
平成31年4月から令和元年12月までの集団回収による回収量は、802トン、令和2年3月現在の集団回収事業の登録団体数は、49団体となっています。

達成目標
市民意識調査の「資源の循環利用」、「地球温暖化防止」の満足度を前回数値より高めます。
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを旨します。

達成状況	達成度
市民意識調査の満足度は、それぞれ前回数値より若干低い結果となり、目標を達成することは出来ませんでした。市広報誌などで継続的な啓発に努め、活動目標については概ね達成しました。	B 概ね達成
成果としては、集団回収事業による回収量は、前年度より低くなりましたが、登録団体は、3団体増加しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>循環型社会を構築する本市の取組として、環境教育や環境フェアの実施、町会や子供会などによる集団回収事業を拡大することにより、4R（リフューズ：発生回避、リデュース：排出抑制、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の推進が図られ、資源の循環利用にも寄与できました。</p> <p>また、水銀による環境汚染を防止し、市民の皆様の健康保護及び生活環境の保全を図るために、水銀使用廃製品の拠点回収に取り組み、令和2年2月末現在、蛍光灯389kg、乾電池類1,097kg回収しました。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 4	農業・商業・工業の振興
--------	-------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	農業・商業・工業ともに地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのPRを通じて、活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
農業について、専業農家や後継者等への国・府・市補助事業の活用を促進します。
商工業者について、国の各種補助制度を活用していただけるような情報を提供します。

具体的な取組実績
産地パワーアップ事業（2件）・被災農業者向け経営体育成支援事業（2件）・大阪版認定農業者支援事業（5件）・農業後継者育成支援事業（3件）・鳥獣被害防止総合対策事業（1件）を実施
大阪府が実施するエリア魅力向上モデル事業（国分西）、商店街サポーター創出・活動支援事業（大正通り）の採択・実施支援 ものづくり補助金、生産性向上特別措置法による固定資産税の軽減、IT導入補助金、キャッシュレス・消費者還元事業、新型コロナ対策関係事業などの周知 プレミアム付商品券事業の実施

達成目標
農業関係の活用事業数（8件）
商工業関係の活用事業数（10件）

達成状況	達成度
農業関係の活用事業数（13件）	A 達成
商工業関係の活用事業数（9事業）	B 概ね達成

総合評価・総括
農業、商工業について、国や府の施策を地域の事業者へ情報提供しながら少しでも多くの事業について活用することにより、経営の安定化や、地域の活性化を図ることができた。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 5	地域資源の活用による交流人口の増加
--------	-------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
2市2町広域観光ルート（柏原市・香芝市・王寺町・三郷町）を活用した共通イベントを実施します。
三郷町との「3幸プロジェクト」により、バーチャルとリアルツアーを実施します。

具体的な取組実績
新型コロナウイルスの影響で、ウォーキングイベントは中止になりましたが、本市と香芝市のエリアでは、ラジオ番組での魅力スポット紹介とスタンプラリーを実施しました。
ウォーキングアプリである「歩いておトク」において、本市と三郷町の魅力スポットを紹介しました。 旅行商品として、本市と三郷町を巡るツアーを造成し、関西を中心とするエリアにパンフレットを配架しました。

達成目標
エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいあるまちを目指します。

達成状況	達成度
ウォーキングアプリでは、本市及び三郷町の魅力を発信し、述べ約40万人の利用があり、また、ラジオ番組での魅力スポットの紹介とリビエールホールでのイベントにより、認知度の向上と、本市へ来訪者の増加が図れました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>広域での今年度の最大イベントであった「ラジオウォーク」については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、止む無く中止となりましたが、その他の取り組みでは、一定本市を含めたエリアの魅力発信により価値向上を図ることが出来ました。</p> <p>また、昨年度に作成したウォーキングマップを活用したウォーキング協会などの各種団体によるウォーキング会で、来訪者の増加を図ることが出来ました。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 6	防犯対策の推進
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自治会・町会が管理する防犯灯の完全LED化を今後5年間で実施します。(平成30年度末現在約70%) また、平成29年度に実施した自治会・町会要望調査に基づく自治会・町会設置の防犯カメラを3~4年程度で120台とします。(平成30年度末現在80台)
---------------------	--

活動目標
自治会・町会設置の防犯灯について、新設・取替合わせて400本以上をLED化します。
自治会・町会設置の防犯カメラについて、10台以上の新設を推進します。

具体的な取組実績
令和元年度の防犯灯LED化について、新設30本、取替380本の計410本実施しました。
令和元年度の自治会・町会設置の防犯カメラについて、15台の新設を推進しました。

達成目標
活動目標を確実に実施することによりLED化の進捗率の向上を図ります。
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めめます。

達成状況	達成度
令和元年度末のLED化率は、5,033本/6,548本≒76.9%となり、計画どおり進捗しています。	A 達成
満足度3.15となり、前回値3.10より高まりました。	A 達成

総合評価・総括
設定した目標値はすべて達成しましたが、計画の途中段階でありますので、計画達成に向け引き続き取り組みを推進してまいります。

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	健康福祉部
部(局)長	石橋 敬三
理事	梅川 保和(健康・保険担当)

【基本姿勢】

「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。
この目標を達成するため、支援を要する市民一人ひとりのニーズを的確につかみながら、高齢者、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、高齢者福祉の増進と健康寿命延伸、障害者の自立支援、市民の健康づくり、妊娠から子育てまでの包括支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ総合的に取り組めます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	健康づくり事業の活性化と健康管理意識の向上を図る仕組みづくり	C
2	子どもや家庭等に対して必要な支援を総合的かつ切れ目なく行うための機構整備	A
3	保護者が安心して子どもを預けることができ、子どもが健全に育つ環境づくり	A
4	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくり	A
5	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくり	A
6	幼保再編の推進における「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた段階的な進捗管理	A
7	生活困窮者支援の拡充及び生活保護扶助の適正実施	A
8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営確保とサービスの質の向上	B

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 1	健康づくり事業の活性化と健康管理意識の向上を図る仕組みづくり
--------	--------------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健康づくり活動を展開する市民グループや個人を支援する仕組みと体制を構築し、健康運動教室の活性化と予防医療の必要性を啓発し、個々の自主的な行動を促進します。
---------------------	---

活動目標
健康づくり活動を展開する市民グループを応援する支援制度構築に向け、実態の把握と関係機関との調整を図ります。
健康運動教室の開催内容の充実を図り、特定健診やがん検診受診率の向上を目指すとともに、大阪府の健康づくり支援事業への積極的な参加を図ります。

具体的な取組実績
健康づくり推進会議（柏原市社会福祉協議会、健康福祉課、高齢介護課、保険年金課、福祉総務課、スポーツ推進課、企画調整課）を2回開催し、健康づくり活動の支援制度について検討しました。 また、健康福祉部内関係課で、会議や視察を実施しました。
健康運動教室につきましては、令和元年度は1教室増やし、内容の充実を図りました。 特定健診については、未受診者8,151名に、はがきや文書を送付し受診勧奨を行いました。 また、大阪府の健康づくりアプリ「アスマイル」の普及啓発を行いました。

達成目標
自主的な健康づくりを継続して展開する市民グループ活動を支援できる制度を構築します。
健康運動教室参加者数の増、特定健診受診率45%、5種のがん検診府内平均受診率を上回ることを目指します。

達成状況	達成度
健康づくりに関する市民グループ活動の支援制度の構築に関して、関係部局で協議・検討を行った結果、次年度への繰越案件となりましたが、新たな取組体制の構築と方向性を確認することができました。	D 未達成
健康運動教室参加者は、1教室増やしたことにより、延べ参加者人数が増となりました。 特定健診は、現時点で、36.5%で、前年から1.1ポイントの伸びです。 がん検診は、婦人科系検診は府平均を超える見込みですが、他は前年同様に平均を下回りました。	C 一部達成

総合評価・総括
健康づくり推進会議で検討の結果、市民グループ活動の支援制度は100歳体操の支援強化にとどめ、新たな制度構築は見送り、手法を変えて検討を進めることになりました。そこで、次年度に向けては、健康づくり推進会議を補強し、事務分掌規則に基づく健康づくりに関するプロジェクトチームを発展的に結成し、健康無関心層へのアプローチなどに取り組んでいくことを確認しました。 がん検診につきましては、新たに協会けんぽの被扶養者の特定健診と本市がん検診を同時に行うなど、受診しやすい新たな手法を取り入れることとしました。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 2	子どもや家庭等に対して必要な支援を総合的かつ切れ目なく行うための機構整備
--------	--------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	妊産婦・乳幼児等の状況を継続的、包括的に把握し、切れ目なく支援するとともに、就学後を含め、虐待防止などを目的に情報提供、相談・指導などの専門的な支援を行う体制を確立します。
---------------------	--

活動目標
子育て世代包括支援センターの開設に向け調査検討し、必要な人員と予算等の確保及び庁内調整を行います。
子ども家庭総合支援拠点の開設に向け調査検討し、必要な人員と予算等の確保及び庁内調整を行います。

具体的な取組実績
先行して設置された他市の子育て世代包括支援センターへの視察など、取り組み方法や必要な職種、人員について調査を実施しました。必要な人員や物品を検討し、確保については、概ね予定通り進めており、子ども家庭総合支援拠点との連携についても会議を重ね調整済みです。
支援拠点開設に向け、健康福祉課と共に先進市に視察し研究を行いました。 実施計画に上げ庁内で調整をはかりながら予算の確保、人員の募集を実施しました。

達成目標
子育て世代包括支援センターを令和2年4月に設置します。
子ども家庭総合支援拠点を令和2年4月に設置します。

達成状況	達成度
想定した業務量から必要な人員として保健師2名、看護師1名を増員予定です。 また、必要物品につきましても今年度中に購入を予定しており、4月からのスタートに向け順調に進捗しています。	A 達成
令和2年4月の設置が決定しました。 引き続き、事業内容の精査、組織体制の次のステップなどについて関係機関との調整を進めます。	A 達成

総合評価・総括
<p>子育て世代包括支援センターの設置に向けては、ほぼ予定通り進行しています。</p> <p>また、必要な人員につきましても採用が予定されています。令和2年度は産婦健診、産後ケア事業などもスタートさせ、また、新設される子ども家庭総合支援拠点と一体的に、妊娠期から子育て期にいたるまで切れ目のない支援を実施することにより、子育て世代全般に対する支援体制の充実を図ることができると考えます。</p> <p>また、子ども家庭総合支援拠点については、事業実施に向け予算の確保及び必要な専門職の獲得が概ね可能となりました。今後は令和3年度新庁舎移行を見据えて、子育て世代包括支援センターとの一体的な事業運営が可能になるよう、引き続き調整が必要です。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 3	保護者が安心して子どもを預けることができ、子どもが健全に育つ環境づくり
--------	-------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	待機児童の解消に努め、保護者が安心して子どもを預けることができる環境づくりに取り組むと共に、子育て世帯の経済的負担の軽減を進めることで、子育て環境の更なる充実を図ります。
---------------------	---

活動目標
<p>本年10月実施の国の幼児教育・保育の無償化に向け、例規整備と保育システムの改修を行い、制度を周知します。 また、先行実施した市制度からの移行で、保護者の負担増としないよう対応します。</p> <p>本年7月1日から実施する放課後児童会の時間延長に向けた体制整備のため、年間を通じて指導員の確保に努めます。</p>

具体的な取組実績
<p>国の無償化制度に合わせ、既存の保育システムの改修および保育料に関する条例改正を行うと共に、制度の周知に努めました。</p> <p>ハローワークや市広報誌、SNS等を活用し、指導員の確保に努めました。 また、新たに拡充する朝の延長時間帯の指導員の配置体制等については、現場の指導員と共に検討を行いました。</p>

達成目標
<p>国に先駆けて実施している5歳児の幼児教育・保育の無償化制度は、国の幼児教育無償化制度の完全実施へスムーズに移行します。</p> <p>本年7月1日から、土曜日及び長期休業中の放課後児童会の開会時間を拡大し、午前8時からとし、年間を通じて安定的に児童会を運営します。</p>

達成状況	達成度
<p>先行実施していた市制度から国の無償化制度へ変わることで負担増となる世帯を出すことなく、スムーズに制度の移行ができました。</p>	A 達成
<p>保護者のニーズに合わせて、開会時間の拡大を図ると共に、児童が安全に安心して通会できる放課後児童会の安定的な運営ができました。</p>	A 達成

総合評価・総括
<p>市では、国の幼児教育・保育の無償化制度の実施に先行し、平成30年9月から5歳児教育部分無償化制度を実施してきました。令和元年10月からの国の無償化制度開始にあたっては、システム改修や条例の改正、新たな事務手続きの構築、制度の周知などに取り組むことで、これまでの市制度から国制度へスムーズに移行できたと考えています。</p> <p>また、放課後児童会では、土曜日及び長期休業中の朝の開会時間を午前8時からとすることで、保護者のニーズに対応すると共に、児童が安全に安心して通会できる環境づくりに努めました。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 4	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくり
--------	-------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	高齢者が、地域で生きがいを持って暮らすことができるよう、介護予防・重度化防止の充実に取り組むとともに、医療と介護の切れ目のない連携支援体制を構築します。
---------------------	--

活動目標
医療と介護の橋渡し役となる「在宅医療・介護連携推進センター」の設置に向け、市立柏原病院と協議します。
高齢者の介護予防・健康づくりと高齢者同士の互助を推進するため、活動手法の指導助言や活動場所確保の支援を通じて地域介護予防活動の育成に取り組みます。

具体的な取組実績
「在宅医療・介護連携推進センター」を令和元年10月1日から市立柏原病院に開設しました。ウェブサイトの開設や、いかしてネットかしわら研修会などで、その周知に取り組みました。
地域に出向き、柏原市いきいき百歳体操に関する出前講座を行うとともに、その活動が継続できるよう、会場使用料等の助成を行いました。

達成目標
「在宅医療・介護連携推進センター」を設置し、運営を開始します。
百歳体操を定期的に取り組む団体数を前年度より増やします。

達成状況	達成度
在宅医療・介護連携推進センターの令和元年10～12月の相談実績は4件で、相談内容は、在宅医療に対応できる市内診療所や療養型病院の紹介等でした。	A 達成
柏原市いきいき百歳体操に取り組む団体（週1回以上の開催頻度のある団体）が、平成31年3月末時点14団体から令和2年1月末時点で26団体となり、前年度に対し12団体増やすことができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>柏原市では団塊の世代が70歳代前半に達しています。70歳代前半は、元気高齢者から軽度要支援者が多く、その介護予防に取り組みました。</p> <p>目標としていた、医療と介護が切れ目なくサービス提供できるよう、医療従事者と介護従事者との連携を支援するための相談窓口の開設につきましては、柏原市の医療・介護分野に精通し、連携支援を行う必要があることから、市立柏原病院に委託し、開設しました。</p> <p>また、百歳体操に取り組む団体数についても、計画どおり増やすことができました。</p> <p>今後、団塊の世代の高齢化が進み、医療と介護の双方のサービスが必要な重度要介護者が増加することが予想されますので、引き続き取り組みを進めます。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 5	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくり
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づき、障害者児の自立支援及び社会参加に係る取組みや、障害児へのサービス提供体制の整備を推進します。
---------------------	--

活動目標
手話言語条例制定に向けて、障害者団体及び柏原市障害者自立支援協議会などから意見を聴取し、また、市民からの意見も反映し、制度設計の内容調整を行います。
第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づき各事業を実施します。 また、軽度難聴児補聴器購入等助成事業の実施等、制度の谷間も含めた障害福祉サービス提供にも取組みます。

具体的な取組実績
条例及び施策推進方針の素案を作成するにあたり、聴覚障害者団体と5回、身体障害者団体と2回の意見交換会を実施するとともに、大阪教育大学においても、手話に関する講義を行い、意見聴取を行いました。 さらに、パブリックコメントを実施し、関係課とも調整を行ったうえで、最終案を作成しました。 なお、年2回開催する柏原市障害者自立支援協議会においても意見聴取及び最終案の報告を行いました。
令和元年7月に開催した柏原市障害者自立支援協議会全体会において、平成30年度の計画実績をPDCAサイクルに基づいた評価・点検及び意見等を聴取を行い、目標達成に向けた課題や問題点を抽出しました。 また、新規事業である軽度難聴児補聴器購入等助成事業については、広報誌及び市HPに記事を掲載し、周知に努めました。

達成目標
手話言語条例を制定し、障害者への意思疎通支援体制を更に強化します。
第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗管理と状況把握を行い、活動指標及び目標にかかる年度の目標を達成します。

達成状況	達成度
令和2年第1回定例会に手話言語条例制定を提案しました。次年度において、条例と同時に策定した施策推進方針に基づき、手話への理解促進及び手話の普及に関する事業を展開し、さらに障害者への意思疎通支援体制を強化します。	A 達成
第5期障害福祉計画の目標の一つである地域生活支援拠点等の整備するため、近隣市及び事業所と協議を行い、介助者の急病等といった緊急時に障害者を受け入れる居室を確保し、次年度より供用開始する予定です。	A 達成

総合評価・総括
手話言語条例制定については、障害者団体及び柏原市障害者自立支援協議会との意見聴取と協議を行い、さら市民からも意見公募し、検討を重ね、条例案を作成することができました。条例施行後も関係団体と連携し、事業を展開する予定です。 また、最終年度を迎える「第5期柏原市障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画」については、障害者の緊急時居室確保に取り組み、目標を達成することができました。引き続き進捗管理を行い、柏原市障害者自立支援協議会と連携し、厳正な評価・点検を行い、目標達成に向けて取り組めます。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 6	幼保再編の推進における「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた段階的な進捗管理
--------	---

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	幼保再編を進めます。その具体的取組みのひとつとして、令和3年4月の「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた整備を進めるとともに、令和2年度途中から0歳児保育を先行開始します。
---------------------	---

活動目標
認定こども園の整備を円滑に進めるため、工程管理を徹底するとともに、住民に周知し理解を得ながら工事を進めます。
乳児保育のスキル習得のため、他市の認定こども園に職員を派遣し研修します。 また、離乳食に対応した自園調理ができるよう、委託内容の精査と業者の選定を行います。

具体的な取組実績
4月の工事の入札について、応札額が予定価格を上回ったため、不調となりましたが、2回目の入札で落札できました。この影響で整備工程が3ヶ月後ろ倒しとなりましたが、令和2年度内完成については、変更することなく進捗できました。 また、住民説明会を2回開催するなど、周知と理解促進を図りました。
八尾市に協力依頼し、八尾市立の認定こども園に保育士一名を乳児クラスの担任として派遣し、一年間を通じて実地研修を実施しました。 自園調理を実施する事業者の選定にあたっては、他市の状況等も踏まえて業務内容を精査した仕様書を作成し、入札を実施しました。

達成目標
「(仮称)かしわら認定こども園」の整備工程に従い、安全に遅滞なく工事を進捗させます。
乳児保育を実施するスタッフがスキルを習得するとともに、自園調理を行う事業者を決定します。

達成状況	達成度
業者選定に苦心した結果、多少の工程変更はあったものの、既に業者選定を経て工事着工し、令和3年4月開園に向け、概ね予定どおり進めることができました。	A 達成
乳児クラスの運営スキルを身に付けることができました。 多くの保育施設で業務実績のある自園調理実施事業者を選定することができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>(仮称)かしわら認定こども園については、多少の予定変更はあったものの令和3年度開園に向け概ね、予定通り進めることができました。</p> <p>なお、他の地区においても、玉手幼稚園の園児数の減少、また、国分幼稚園の耐震診断の結果を受け、新たに(仮称)たまた認定こども園および(仮称)こくぶ認定こども園を令和3年度開園に向け整備をすることとなったため、統合について遅滞なく進めることが今後の課題です。</p> <p>また、「(仮称)かしわら認定こども園」での自園調理については、十分な実績のある事業者を選定することができました。今後は、11月からの自園調理開始に向け、委託業者と連携を取りながら準備を進め、子どもたちに安心して安全な給食の提供ができるよう努めてまいります。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 7	生活困窮者支援の拡充及び生活保護扶助の適正実施
--------	-------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	生活困窮者を早期に発見し、複合化・複雑化した課題に的確に対応するため、多機関でのケースの検討による包括的な支援を行います。 また、生活保護事業の医療扶助の適正化を推進します。
---------------------	--

活動目標
生活困窮者の包括的な支援体制を充実させるため、「生活困窮者支援会議」における毎月の全体会議に加え、就労支援、こども若者支援、生活困窮者民間支援の3つの専門部会を開催します。
医療扶助の適正化を図るため、令和3年1月からの必須事業である「被保護者健康管理支援事業」の円滑な施行に向けてレセプト管理システム等の改修内容を検討するなど準備を行います。

具体的な取組実績
生活困窮者支援会議を24回、それぞれの専門部会は、基本メンバーを核に、就労支援部会では、ハローワークや地域若者サポートステーションなどが加わり2回、子ども・若者支援部会では、教育委員会や保健所などが加わり3回、民間支援部会では、市内の社会福祉法人や大阪府社協が加わり3回開催しました。
「被保護者健康管理支援事業」業務委託の内容の決定とそれに伴うシステム改修内容を決定しました。

達成目標
会議における役割を分担し、課題抽出や、課題解決に向けての検討などがスムーズに行えるよう、各専門部会が、役割・機能を十分に活かすための業務フローを確立させます。
レセプト管理システム等の改修内容を決定します。

達成状況	達成度
各専門部会では、より専門的な関わりについて議論できるよう、多機関が関わり連携の幅を広げるなど、柔軟性のある支援を検討することが可能となりました。	A 達成
被保護者のレセプトデータを分析・解析し、受診行動適正化リスト、糖尿病性腎症重症化予防リスト作成の事業化を決定し、これらのリストに基づき健康管理支援対象者の抽出に必要な生保システムの改修内容を決定しました。	A 達成

総合評価・総括
生活困窮者支援会議は、3つの専門部会を開催し、各部会において、それぞれが役割を果たすことで、課題解決に向けて、よりきめ細やかな支援がより具体的な提案を行うことができるようになりました。 レセプト管理システム等の改修は、医療保険者が実施している健康管理支援を被保護者にも適用するために必要なものですが、本市の人員配置や財政状況からどのように実施していくことが最も良いのか検討し決定しました。令和2年度に入れば速やかに改修を行い、被保護者健康管理支援事業を実施し、医療扶助の適正化を図ります。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営確保とサービスの質の向上
--------	----------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な福祉サービス等が提供されるように、市が指導監督の権限を有する社会福祉法人及び各種福祉サービス事業者に対して適切な運営指導を行います。
---------------------	---

活動目標
社会福祉法、介護保険法など関係法規に基づき事業者の指導・監査等を実施します。
市内介護保険サービス事業者の新規・更新に係る審査事務手数料を徴収します。

具体的な取組実績
市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。また、実地指導・監査等を計画的に実施しました。
市内介護保険サービス事業者から出された新規・更新の申請について、審査手数料はすべて徴収しました。

達成目標
各種福祉サービス事業者に対する集団指導の開催、実地指導等を実施します。
市内介護保険サービス事業者から審査事務手数料を徴収します。

達成状況	達成度
集団指導については、令和元年6月に市内事業者に対し開催、実地指導・監査等については、ほぼ予定どおり実施することができました。	B 概ね達成
徴収実績については、新規8件、更新22件で、実績額は480,000円（令和2年2月13日現在調定）です。	A 達成

総合評価・総括
<p>令和元年度は、認可外保育施設の検査などに重点をおいて、全体的には概ね達成できたと考えます。</p> <p>当該業務は、担当職員の経験・専門性がその進捗に大きく影響を及ぼすため、前年度に引き続き専門性を持った職員の育成などを計画的に進められるよう、人事部局との調整等を行い、今後とも事業者による福祉サービス等の提供がより健全なものとなるよう慎重に指導・監査等を実施します。</p> <p>また、審査事務手数料については問題なく徴収を行いました。</p>

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	都市デザイン部
部(局)長	森本 貞男

【基本姿勢】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について、災害に強いまちづくりを実現するため日常の維持補修による安全確保等だけでなく、計画的な維持補修や長寿命化及び耐震化に取り組み、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地については、自然に親しむ場にするとともに、災害時の一時避難にも利用できるような安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上について必要なインフラ整備を推進します。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の交通安全意識の高揚を図るため、啓発活動の充実を図ります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

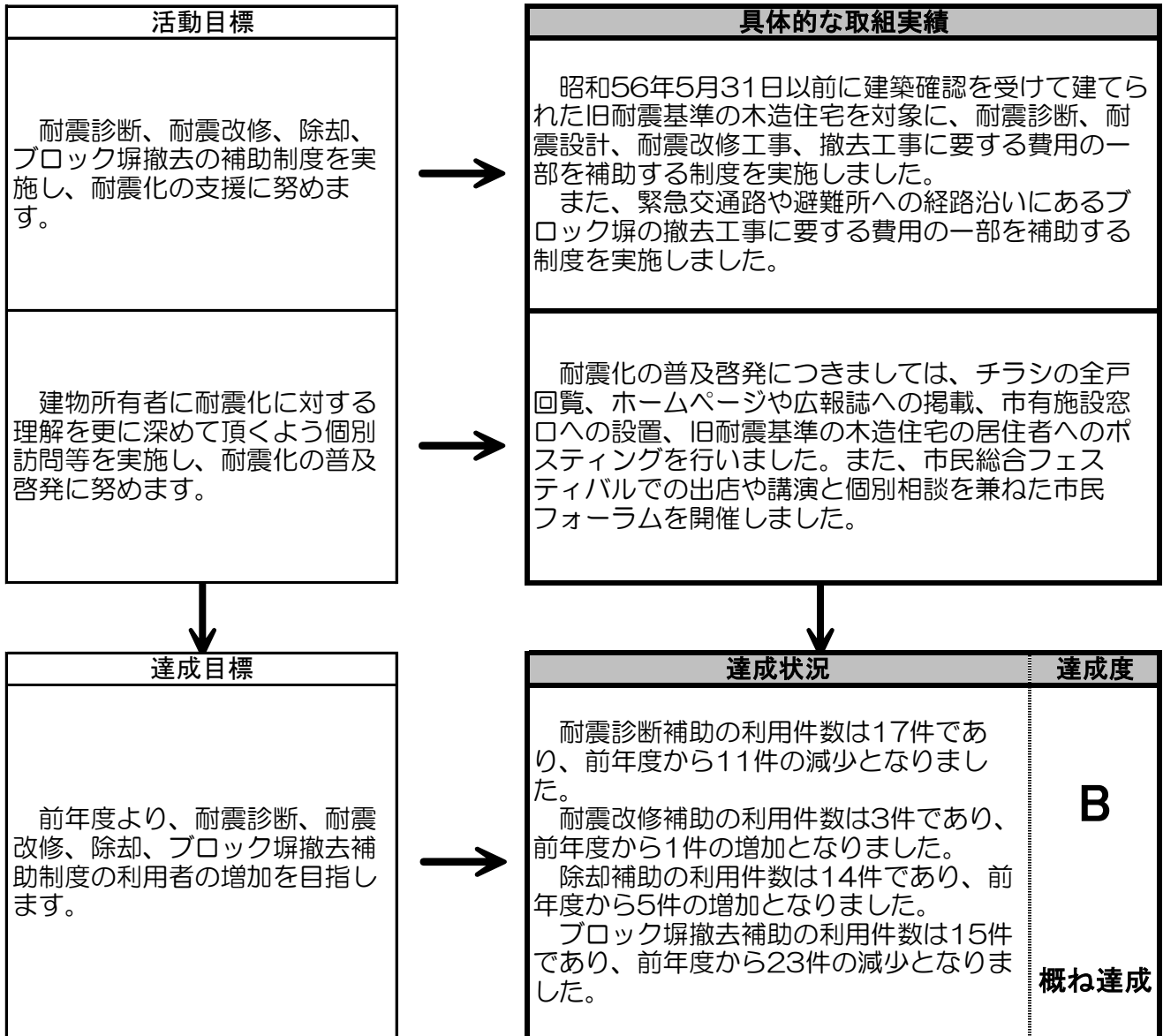
	重点課題	令和元年度 達成状況
1	住宅・建築物の耐震化の促進	B
2	効果的・効率的な道路整備の推進	A
3	計画的及び効果的な維持補修の推進	B
4	交通安全対策の推進	A
5	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理	B

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 1	住宅・建築物の耐震化の促進
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模な地震から市民の生命・財産を守るため、住宅・建築物の耐震化を促進します。
---------------------	---



総合評価・総括
<p>補助利用者について前年度と比較しますと、耐震改修・除却補助は増加となりましたが、耐震診断補助につきましては大幅の減少となりました。 また、ブロック塀撤去補助につきましても前年度より減少となりましたが、安全性の確認できないブロック塀の全体量が減少したことに起因するものと考えられます。 災害に強いまちづくりを実現するため、耐震化についてより一層の普及啓発に努めたいと考えております。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 2	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路の拡幅により、車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では、良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図ります。
---------------------	--

活動目標
<p>上市法善寺線は、都市計画道路大県本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通環境を確保するため、接道交差点部の整備に必要な用地取得、工事を進めます。</p> <p>雁多尾畑地区の交通の安全や農業振興を目的に、整備が完成した市道畑信貴線に引き続き、接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地取得を進めます。</p>

具体的な取組実績
<p>上市法善寺線の道路整備に必要な用地確保に向けて、用地測量及び物件補償算定業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。 また、用地取得ができた範囲において、道路整備工事（歩道整備）に取り組んでいます。</p> <p>信貴太平寺線は、道路拡幅に必要な用地確保に向けて、用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を行いました。</p>

達成目標
<p>接道交差点部の整備を行うことで、安全で円滑な交通環境及び市民の安全・安心が確保できます。</p> <p>信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から里山公園へのアクセス路になります。</p>

達成状況	達成度
<p>道路整備に必要な用地買収について、市において2件、土地開発公社において1件の契約を締結しました。 また、用地取得ができた範囲で、延長110mの歩道整備工事に着手しました。</p>	A 達成
<p>道路拡幅に必要な用地確保について、用地取得の交渉が整い、全ての用地確保ができました。 次年度より計画的に道路拡幅工事を進めます。</p>	A 達成

総合評価・総括
<p>上市法善寺線は東側の歩道工事に着手し、また、信貴太平寺線は来年度より工事の着手が可能となりましたことから、計画的に各事業を進め、交通の円滑化、通学路の安全確保などの事業効果を早期に発揮する必要があると考えます。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 3	計画的及び効果的な維持補修の推進
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょうの維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化や破損個所の緊急的な補修対応により、通行の安全確保や利便性の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋は、地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心のため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事を行います。
道路の舗装・維持補修については、平成30年度に更新した舗装修繕計画に基づき、計画的な補修を行います。 河内国分駅東口の横断歩道橋は、路面や階段などの損傷や老朽化が点検結果において進行している状況であることから、横断歩道橋の長寿命化修繕計画に基づき、補修工事の実施に向けて設計業務を行います。
点検パトロールや市民の方からの通報により、道路面や道路肩等の破損、陥没等を発見、又は確認した場合は、事故発生防止のため、緊急的な補修等を行うなど、迅速に対応を行います。

具体的な取組実績
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋につきまして、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕と大規模地震に備えた橋脚の耐震補強工事を行っています。
道路の舗装・維持補修については、更新した舗装修繕計画に基づき、市道石川東線の舗装工事を行いました。 また、横断歩道橋長寿命化計画に基づき、老朽化が進んでいる河内国分駅東口の横断歩道橋につきまして、補修工事を行うための、詳細設計業務を行いました。
点検パトロールや市民の方からの破損等の通報に伴い、現地確認や調査を行い、補修工事を行っています。2月末時点で約100箇所の道路面や道路肩等の補修を実施しており、今後も迅速な対応を行います。

達成目標
国道25号から国分寺大橋を渡り本堂高井田線青谷交差点に繋がる東条青谷線は、柏原市地域防災計画において緊急交通路に指定されており、国分寺大橋の耐震補強を行うことで、大規模災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。
道路の舗装においては効率的な舗装維持管理の実施により、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。 河内国分駅東口の横断歩道橋においては、歩行者の安全な通行を確保できる設計が完了します。
道路の破損等について緊急的な補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全が確保できます。

達成状況	達成度
国分寺大橋は、一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。 3工区として、橋面における歩道部の防水工事を実施し、4工区として、下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事を実施し、早期の完成を目指します。	B 概ね達成
道路の舗装補修については舗装修繕計画に基づき、市道石川東線の道路補修工事を行ったことにより、安全で円滑な交通環境の確保、市民の安全・安心が確保できました。 また、河内国分駅東口の横断歩道橋におきまして、補修のための詳細設計を行ったことから、老朽化による事故を未然に防ぎ、また歩行者安全な通行を確保するための次年度の歩道橋補修工事に繋がるものとなりました。	A 達成
緊急的に補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全を確保しております。	A 達成

総合評価・総括
道路、橋りょうの維持管理については、「舗装修繕計画」及び「橋りょう長寿命化計画」に基づき、今後も計画的な維持補修に取り組んでいく必要があると考えます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 4	交通安全対策の推進
---------------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	生活空間の安全・安心の確保のため、点検を継続的に実施するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善・充実を図ります。 また、これらの取組を「PDCA」サイクルとして、繰り返し実施し、生活空間の安全・安心の確保、向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
通学路や危険な交差点などについて、関係機関と連携を図り、各小学校区の通学路点検、各地区の地区点検の結果をもとに、対策必要箇所の選定や優先順位を決定します。

具体的な取組実績
通学路に係る関係機関が連携して実施する通学路点検の結果等を参考に、通学路等の生活空間の安全、安心の確保を目的に、対策必要箇所の把握や具体的な対策方法を取りまとめた交通安全総合整備計画を策定しました。

達成目標
対策必要箇所における歩道設置、グリーンベルトや交差点への路面標示の設置など対策方法を検討し、順次改善するための「交通安全総合整備計画」の策定を行います。

達成状況	達成度
通学路等の生活空間の安全・安心の確保を目的とし、交通安全総合整備計画を策定しました。 整備計画は、ソフト対策として、交通安全教室等の啓発活動を引き続き実施するとともに、ハード対策として、路面標示や安全柵設置等を短期計画として、部分的な歩道整備等を中期計画として取りまとめました。	A 達成

総合評価・総括
策定しました交通安全総合整備計画に基づき、対策必要箇所において、計画的に整備を進めていき、整備後における効果の把握も行う必要があると考えます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 5	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園、広場、緑地については、安全で快適な地域のインフラとして、地域住民の皆様にも愛着をもっていただくとともに、市民の皆様にとって憩いとやすらぎをもたらす、また交流が生まれる場となるように目指します。
---------------------	---

活動目標
市民の方々との協働による草花の植栽などを呼びかけ、みどり豊かなまちづくりを進めます。
市立玉手山公園においては、老朽化の著しいトイレの改修や子どもたちに人気の高いちびっこグレンデの人工芝の更新を行うほか、市内の公園の維持管理として、遊具施設の点検及び補修並びに樹木の剪定などを行います。

具体的な取組実績
地域への花苗配布を実施しました。(春：3,120株・26団体、秋：3,160株・27団体) 協働緑地でも、市民と協働で草花の植栽等を年間6回実施しました。
市立玉手山公園においては、汲取り式のままで老朽化の進むコミュニティ広場のトイレを洋式簡易水洗に改修し、また、冒険の広場トイレについては、修繕に伴い和式から洋式トイレに変更しました。ちびっこグレンデについては、人工芝の更新が完了しました。 市内公園については、遊具点検(102公園、320基)、砂場殺菌(31箇所)、樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(13箇所)大和川河川敷芝生管理等を実施しました。

達成目標
緑地などの緑化の推進や公園などでの草抜きやゴミ拾いなどの簡易な作業について、地域の方々との協働を呼びかけることにより、より地域住民に愛着を持っていただける公園、広場、緑地となります。
市立玉手山公園においては、トイレの改修やちびっこグレンデの人工芝の更新を行うことで、快適にまた安全に安心して利用していただけます。 また、市内の公園施設の点検及び補修、樹木の剪定などを行うことで、安全・安心な公園として、市民の方々に安全に、快適に利用していただき、憩いとやすらぎをあたえ、また交流が生まれる場となります。

達成状況	達成度
地域に密着した公園は、地域住民に愛着を持っていただける公園になるよう、草抜きやゴミ拾いなどの簡易な作業については、地域の方々との協働による維持管理を呼びかけて、ご協力を頂いておりますが、地域の方々の高齢化などの課題もあります。このような状況の中で、今後も地域住民に愛着を持っていただけるように、子育て世代などの若年層にも協力してもらえるように働きかけてまいります。	B 概ね達成
市立玉手山公園においては、トイレの改修を行い来園者が快適に利用できるよう取り組みました。また、ちびっこグレンデの人工芝の更新でより安心・快適に利用できるよう取り組みました。 市内の公園施設の定期的な日常点検のほか、専門業者による年1回の点検、補修を行い、また樹木の剪定や伐採を行うことで、市民の方々に安全に楽しく利用していただける憩いとやすらぎの場となるよう取り組みました。	A 達成

総合評価・総括

台風やゲリラ豪雨による倒木の処理や老朽化した遊具の修繕など、緊急的な対応を迫られる事態が発生したが、限られた人員と予算の中、市内公園のパトロールを強化するなど管理水準を極端に落とすことなく維持管理を行うことができました。

令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	会計管理室
部(局)長	小林 由幸

【基本姿勢】

会計管理者は、予算を執行する機関に対して、内部けん制する権限が与えられており、また、会計管理室は、会計管理者の補助機関として、公金の収入・支出及び保管、支出負担行為の確認、決算の調製など会計管理者の権限に属する会計事務を担当しています。

そのため、会計事務の執行に当たっては、法令等に基づき、予算執行が適正に行われているかを厳正に審査し、適正かつ迅速な会計事務の執行と公金の適正管理に努めてまいります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	適正かつ迅速な会計事務の執行	A
2	公金の適正管理及び運用	A
3	指定金融機関等の検査の実施	A

部名	会計管理室
----	-------

重点課題 1	適正かつ迅速な会計事務の執行
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公金の収入・支出が法令等に基づき、適正に執行されるよう厳正な審査を行うことで、さらなる信頼性の高い市政の確立を目指します。
---------------------	---

活動目標
支出命令書の作成等を法令等に基づき審査し、適正かつ迅速な支払い事務を行います。
審査の結果、書類不備等がある場合、各課の担当者に対して助言・指導を行うことで、適正な会計事務を行います。

具体的な取組実績
審査において、常に担当者間での確認事項や情報共有の徹底を図りました。
各課の事務処理に誤りや添付書類の不備などがある場合は、速やかに是正し、今後繰り返すことがないよう助言・指導を行いました。

達成目標
審査事例の検証を行うことで、会計管理室の職員の審査能力の向上を図り、より一層適正かつ迅速な会計事務を行います。

達成状況	達成度
関係法令や財務実務書類等による審査事例の検証を情報共有し、また、近隣市の実務担当者会議などへの参加により審査能力の向上が図られ、より一層適正かつ迅速な会計事務を行いました。	A
	達成

総合評価・総括
会計事務は、業務範囲が広く、幅広い知識が必要です。そのため、日々の自己研鑽や実務担当者会議などへ参加することで審査能力の向上が図られ、各課の誤りや不備のある事務処理に対して、必要な助言・指導を行うことでより一層適正かつ迅速な会計事務の執行に努めました。

部名	会計管理室
----	-------

重点課題 2	公金の適正管理及び運用
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公金の管理及び運用においては、確実かつ有利な方法により管理し、効率的な資金運用を行います。
---------------------	---

活動目標
歳計現金において、収支見込を把握して資金が不足しないように確保し、余裕資金が生じた際には、定期預金での運用を行います。
特定の目的のために積み立てている基金については、確実かつ効率的に運用します。

具体的な取組実績
日々の収支状況と過去の収支実績を踏まえた収支状況表で収支予測を立て、歳計現金の運用可能額を見据え、余裕資金を定期預金での運用を行いました。
歳計現金への繰替え運用と一部の基金を除いた基金を一括して、定期預金での運用を行いました。

達成目標
公金の運用については、金融機関での運用を基本に、利率照会による競争原理の活用により、確実かつ効率的な運用に努めます。

達成状況	達成度
過去の実績を踏まえ、4金融機関への利率照会により、安全かつ確実な定期預金での運用を行いました。	A 達成

総合評価・総括
基金を含めた公金については、低金利の中、安全かつ確実な定期預金の方法で適正な管理、運用を行いました。今後も安全性を最優先とし、少しでも効率的な運用方法を模索しながら適性な管理、運用に努めます。

部名	会計管理室
----	-------

重点課題 3	指定金融機関等の検査の実施
--------	---------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	指定金融機関等に対して、公金の収納や支払い等の事務が適正に処理されているかを確認します。
---------------------	--

活動目標
指定金融機関及び指定代理金融機関において、公金収納の関係帳票等の検査を行います。
収納代理金融機関については、会計管理室への検査書類の提出により検査を行います。

具体的な取組実績
11月19日及び21日に、検査対象金融機関へ出向き、書類及び聴き取り検査を行いました。
検査対象期間を9月1日から30日までとした検査書類の提出を求め、11月に書類及び電話による聴き取り検査を行いました。

達成目標
金融機関に対して、検査を実施することにより、公金収納事務等の適正化が図れます。

達成状況	達成度
検査の結果、概ね適正に処理され、特に問題がなかったが、一部不備があった金融機関に対して口頭指導を行い、公金収納事務等の適正化が図れました。	A 達成

総合評価・総括
指定金融機関等の検査については、法により検査する義務が課されていますが、今後も厳正な検査を実施することで、公金収納事務等の適正化を図ります。

令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	上下水道部
部(局)長	辰巳 伸一

【基本姿勢】

上下水道は生活に欠かすことの出来ない水道水の供給、生活排水の処理、さらに降雨による浸水被害の防除など、市民生活を支えるとても重要なライフラインです。

この上下水道事業を取り巻く事業環境が、人口減少等に伴う水需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大、また、近年増加している局地的大雨や台風に伴う浸水対策への対応などにより、年々厳しくなっています。

このため、上下水道部では、将来にわたり安定したサービスの提供を続けるため、これまで効率的な事業運営に努めています。

今年度についても、「便利で快適に暮らせるまち」の政策目標のもと、市民の皆さまが安心して快適に生活ができるまちを目指し、以下の取組みを進めます。

下水道事業では、「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づき、公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道の計画区域外における浄化槽整備についても、引き続き進め、生活環境の改善と河川などの公共用水域の水質向上を図ります。

また、浸水被害から市民の皆さまの生命、財産を守るため、老朽化が進んでいる雨水ポンプ場の更新に向けた計画の策定を進めるとともに、災害時における下水道施設の早期復旧体制の構築に取り組みます。

水道事業では、新たに策定しました「柏原市水道事業ビジョン2019～2028」において、事業の理想像として掲げた「安全」「強靱」「持続」の実現に向け、老朽化した水道管路や施設の更新、整備を進めるとともに、停電対策の強化にも取り組み、災害に強い水道システムの再構築を進めます。今後もこの計画に基づき、安全で良質な水道水の安定的、効率的な供給に努めます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	計画的な污水整備と生活排水対策の推進	B
2	下水道施設の老朽化対策	A
3	災害時の復旧支援の強化	A
4	水道施設の耐震化の推進	B
5	危機管理対策の強化	A

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 1	計画的な污水整備と生活排水対策の推進
--------	--------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づく污水管渠整備を進めるとともに、浄化槽設置による生活排水処理の実施を引き続き行います。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
約2ヘクタールの污水整備を行います。	約2ヘクタールの污水整備が完了する見込みです。
5基の浄化槽設置を行います。	新たに3基の浄化槽を設置しました。

達成目標	達成状況	達成度
令和元年度末には、人口普及率約87.4%を目指します。	令和元年度末までの人口普及率は、約87.5%の污水整備を達成する見込みです。	A 達成
令和元年度末には、設置基数86基を目指します。	これまでに設置した浄化槽の基数は、84基となりました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>公共下水道整備第7次五箇年計画に基づく計画的な污水整備を進めた結果、人口普及率87.5%を達成する見込みです。</p> <p>今後も第7次五箇年計画の最終目標である令和2年度末人口普及率87.6%達成に向け、計画的に污水整備を進めます。</p> <p>また、浄化槽事業については、公共用水域の水質向上や生活環境の向上に向け、今後も引き続き事業を進めます。</p>

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 2	下水道施設の老朽化対策
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	雨水ポンプ場などの老朽化した施設について長寿命化を図るとともに、重要度の高い施設から更新を進めます。
---------------------	--

活動目標
下水道施設全般の長寿命化や施設更新の基本となるストックマネジメント計画を策定します。

具体的な取組実績
平成29年度より取り組んでいます下水道ストックマネジメント計画の策定に係る基本計画及び実施計画に基づき、柏原市下水道ストックマネジメント計画を策定しました。

達成目標
ストックマネジメント計画に基づく経済的で効果的な更新により、施設の機能を維持します。

達成状況	達成度
ストックマネジメント計画の策定により、今後、経済的かつ効果的な更新を図り、施設の機能維持が可能になります。	A
	達成

総合評価・総括
今年度、柏原市下水道ストックマネジメント計画の策定が完了しましたので、来年度より計画に基づき、多額の事業費が必要となる雨水ポンプ場の改築更新につきまして、国からの交付金を有効に活用しながら、効果的かつ効率的に進めます。

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 3	災害時の復旧支援の強化
---------------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害により下水道施設が被災した場合に備え、下水道事業 関連団体との支援体制を構築します。
---------------------	---

活動目標
災害支援協定締結に向け、関 連団体との調整手続きを行いま す。



具体的な取組実績
下水道事業団と協定締結に向けた調整を行いま した。



達成目標
災害時における下水道施設機 能の迅速な復旧が可能となりま す。



達成状況	達成度
下水道事業団と災害時支援協定を締結 しました。協定締結により、主な下水道 施設機能の迅速な復旧が可能となりま す。	A
	達成

総合評価・総括
<p>当初の目標としていた災害時支援協定の締結は達成しました。 今後も引き続き、災害時の復旧支援の強化につながる下水道事業関連の民間企業・団体等との協定締結に向けた調整を進め、支援体制の構築を図ります。</p>

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 4	水道施設の耐震化の推進
---------------	--------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	重要度の高い基幹管路等の路線を優先し、計画的に耐震化(更新)を図ります。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
老朽化した水道管路約3.5kmの更新を行います。

具体的な取組実績
老朽化していた水道管路約2.6kmの更新を行いました。 なお、残りの0.9kmにおきましては、5月ごろに完成を見込んでおります。

達成目標
令和元年度末で、管路延長約257kmの内108kmが耐震適合化され耐震適合化率は、42%になります。

達成状況	達成度
管路延長約256kmの内107kmが耐震適合化され耐震適合率は、42%になりました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>管路更新事業におきまして、玉手幹線など重要給水施設につながる管路及び鉛製給水管が使用されていた管路などの更新を行いました。</p> <p>また、地域とのコミュニケーションを図り、お祭りなど地域行事に影響を及ぼすことなく工事を行うとともに下水道工事との合併入札により工期短縮、工事費用の削減にも取り組みました。</p> <p>さらに、工事施工時期の平準化の取り組みとして、工事の閑散期である5月まで年度をまたぎ工事が行えるよう工事施工時期の設定を行いました。</p> <p>今後も計画に基づき、老朽化した管路の更新を行い耐震化に取り組めます。</p>

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 5	危機管理対策の強化
---------------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	可搬型発電機の購入等による代替電源の確保に努めます。
---------------------	----------------------------

活動目標
可搬型発電機を備えます。

具体的な取組実績
可搬型発電機を備えました。

達成目標
長時間停電時に、機械、電気設備が稼働できるようになり、水を送ることが出来るようになります。

達成状況	達成度
長時間停電時でも、可搬型発電機により機械、電気設備が稼働できるようになり、水を送ることが出来るようになりました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>平成30年に発生した、台風21号の影響により、本市でも停電が発生し、水道施設の一部で機能が一時的に停止しました。</p> <p>柏原市水道事業ビジョンでは、災害時に発生する大規模停電に備え、停電時でも電気、機械設備が稼働できるよう代替え電源の確保として可搬型発電機の整備を計画しておりました。</p> <p>今年度、代替え電源として可搬型発電機を購入し、停電時でも水を送ることができるようになりました。</p> <p>また、購入した可搬型発電機はじめとする資機材を使用して防災訓練を行い発災時に備えています。今後も停電、地震等、災害対策に取り組みます。</p>

令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を行えるよう取り組んでまいります。
また、医業収益の向上、経費の削減に取り組み、安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	安定した経営基盤の確立	C

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	多様なニーズに対応できる安全安心な医療体制の構築
---------------------	--------------------------

活動目標
安全安心な医療提供体制を構築するため、定期的に各種病棟運営委員会を開催してまいります。
近隣の医療機関及び関連大学病院との情報交換の機会を設けます。

具体的な取組実績
緩和ケア病棟運営委員会及び地域包括ケア病棟運営委員会をそれぞれ定期的(月1回)に開催し、円滑な病棟運営に努めました。
柏原市医師会会員を対象とした症例検討会を11月に開催するとともに、6月には大阪市立大学医学部附属病院医師を講師に招請し市民公開講座を開催しました。また、近隣の診療所等を訪問し、連携の強化に努めました。(訪問実績:病院、診療所52件)

達成目標
円滑な病床機能の転換を進めます。
地域の医療機関及び関連大学等との連携を強化します。

達成状況	達成度
平成31年4月からの病床転換(地域包括ケア病床44床)及び令和元年10月からの病床転換(緩和ケア病床6床)については、いずれも支障なく円滑に転換することができました。	A 達成
紹介率が、59.9%(平成30年度)から64.2%(令和2年1月末現在)に上昇しました。	A 達成

総合評価・総括
急性期病床に加え、地域包括ケア病床44床を開設するとともに、緩和ケア病床を6床増床し、多様な医療ニーズに対応できる病床機能の確保に努めました。 また、地域の医療機関との連携を深め、基幹病院としての役割を果たすための取組を引き続き進めてまいります。

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 2	安定した経営基盤の確立
--------	-------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	医業収益の増加と経費の削減に努め、資金不足額の減少に取り組みます。
---------------------	-----------------------------------

活動目標
病床稼働率を向上させるため、緩和ケア病床の増床を行います。
経営改善に向けた検証、検討会議を開催します。

具体的な取組実績
令和元年10月から急性期病床6床を病床転換し、緩和ケア病床を17床から23床へと6床増床しました。
令和元年7月以降、経営コンサルタントの支援を受け、集患対策、効率的な診療内容の検証など経営改善に向けた取組を進めました。

達成目標
前年度からの医業収益の増加を目指します。
前年度からの医業費用の抑制に努めます。

達成状況	達成度
令和2年1月末日時点での令和元年度の医業収益は約35億8,000万円となり、前年度比較で約9,200万円の増収となりました。	A 達成
令和2年1月末日時点での令和元年度の医業費用は約35億6,000万円となり、前年度比較で2,800万円増加する結果となりました。	D 未達成

総合評価・総括
令和元年度は地域包括ケア病棟の開設、緩和ケア病棟の増床等を行い、医業収益の確保に努めました。しかしながら、外来収益の減少や委託料の増加が影響し、目標(資金不足額の減少)を達成することはできませんでした。

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	教育部
部(局)長	福島 潔
教育監	岡本 泰典(学校教育担当)

【基本方針】

義務教育を取り巻く環境は急速に変化しています。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などが求められました。これを受け、平成27年度から総合教育会議が定期的開催され、平成26年3月策定の「柏原市教育振興基本計画」の後期計画である改訂版(平成29年度から平成31年度まで)を策定し、平成29年5月開催の第1回総合教育会議において、市長が定める教育に関する「大綱」に位置付けられました。このような中、令和2年4月には小学校、令和3年4月には中学校で新しい学習指導要領が本格実施されます。改定の主な趣旨は「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことであり、保護者・地域の皆さまのお力添えをいただきながら、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していく事が謳われています。

これらを踏まえ、学校教育においては、学校に関わる全ての人の人権を尊重する中で、本市の教育理念『「かしわらっ子」はぐくみ憲章』(平成20年策定)にある「15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成」を期して取り組みます。

また、生涯教育においては、市民の生涯学習の機会を促進・充実させるような教育行政を市民と協力しながら推進していきます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	学校に関わる全ての人の人権を大切にする取組みを進めます。	B
2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。	B
3	教育機会の均等と確保	A
4	学習意欲の向上や確かな学力の向上	B
5	安全、安心な教育環境の整備	B
6	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会を提供します。	B
7	誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。	B

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 1	学校に関わる全ての人の人権を大切にすることを進めます。
--------	-----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>①柏原市人権教育基本方針に則り、自他の人権を尊重し合った豊かな人間関係づくりを基に、子どもたちの発達段階に応じた協力的・参加的・体験的な人権教育を推進します。</p> <p>②教職員自身がさまざまな人権問題についての認識を深め、確かな人権感覚をもって子どもたちに伝え、正しい理解と認識を深めさせていくことで、真に人権が尊重された社会を担う人間の育成に努めます。</p>
---------------------	---

活動目標
人権に関わる各種研修をとおして、教員の人権問題についての認識を高め、確かな人権感覚を育成します。
子どもたちの学校生活の状況を把握すると同時に、いじめの未然防止、早期対応に活かします。

具体的な取組実績
<p>夏期フィールドワーク研修1回、秋期人権研修1回を実施しています。</p> <p>また、人権教育研究会に補助金を出しており、年間9回の委員会を開催し、人権教育の在り方について研究しています。総会、幼・小・中合同実践交流会、学習会を年1回ずつ行い、教員の人権意識を高めています。</p> <p>さらに、府内・全国の人権学習会に参加できるようにもしています。各中学校区で研究を行い、年度末に報告し、実践の共有を行っています。</p>
<p>年2回全児童・生徒に対して生活アンケートを行い、結果を「柏原市いじめ問題対応委員会」で共有し、研究を行っています。各校では、日頃からクラスの実態把握に努めると共にアンケート結果を参考に、未然防止の観点から、いじめが起りにくい学級の雰囲気作りの醸成に努めています。</p> <p>また「学校いじめ対応委員会」で学校全体の客観的な状況を示しながら、スクールカウンセラー等の専門家も交えて早期の組織的対応を実施しています。</p> <p>さらに、児童生徒の困っていることや悩みを引き出すために、必要に応じて個別に教育相談を行っています。</p>

達成目標
各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民意識調査の「教育指導」の満足度について、ほぼ前回同様の数値を維持しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>人権感覚の育成については、研修機会や内容の充実を図り、教員の認識を高めることができました。それにより、正しい理解と認識を持って指導にあたることができました。今後は、多岐に渡る人権課題についても参加的・体験的な学習ができるよう、さらなる研究が必要であると考えています。</p> <p>SNS等での子ども同士の関係についても生活アンケートをとおして実態把握し、いじめ等の未然防止にあたることができました。今後もアンケートのみならず、学校教育活動全般において、確かな人権意識を高められるよう指導に努めていきます。</p> <p>また社会とともにある学校をめざし、社会全体で人間形成が行えるよう家庭や地域との連携を密にしていきます。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
--------	-----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>教育委員会、学校、家庭、地域が連携・協働して、以下に取り組みます。</p> <p>①「確かな学力」：「かしわらっ子はぐくみプラン（第2期柏原市学力向上3カ年計画）」に基づき、新学習指導要領で求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指します。</p> <p>②「豊かな心」：教科化された道徳を軸に、人権教育、キャリア教育の充実をとおして、いじめや不登校、問題行動の減少を目指すとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実を目指します。</p> <p>③「健やかな体」：保健体育や食育の充実により、将来にわたり体や健康に留意し、自己管理できる力の育成を目指します。</p>
---------------------	--

活動目標
<p>市独自で、児童の学力と個性や心の在り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を継続実施し、効果的な活用により、学力向上と個性の伸長等につなげられるよう学校を指導します。</p> <p>中学校においては、学力向上推進講師による放課後学習等を引き続き実施します。</p>
<p>昨年度、小学校で始まった「特別の教科 道徳」を引き続き適切に進めるとともに、本年度の中学校での実施を円滑に進めていきます。</p>

具体的な取組実績
<p>本年度も12月に、小学校の1年生から6年生までを対象に「かしわらっ子はぐくみテスト」を実施しました。</p> <p>市全体で向上をめざしている「書く力」については、記述式問題の正答率が全国を上回り、全国比（全国を50とした時の数値）では昨年度の50.80から52.16と上昇しました。</p> <p>中学校における放課後学習については、各校での講義を1校につき15回程度実施しました。</p> <p>また、夏季休業期間に英検3級対策講座を10回実施しました。</p>
<p>道徳教育推進教師連絡協議会を5月と12月に開催し、質の高い授業の実践がなされることと、小中学校の「特別の教科 道徳」が年間35時間（小学校1年生が34時間）確実に実施されることをめざして啓発を行いました。</p>

達成目標
<p>各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。</p>

達成状況	達成度
<p>市民意識調査の「教育指導」の満足度について、ほぼ前回同様の数値を維持しました。</p>	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>「確かな学力」については、第1期柏原市学力向上3カ年計画の成果を確認すると、小学校、中学校ともに「書く力」が向上していることがわかりました。一方、大阪府や全国には届いていない学力項目が多いこともわかりました。今年度は第2期柏原市学力向上3カ年計画を踏まえ、育成した力を活用する取組みや研修を実施しました。各校でどのような伝達や取組みが行われたのかも確認できたことで、来年度の小学校、再来年度の中学校での新学習指導要領完全実施に向けての学力向上方針を共有する土台を作ることができました。またICT教育推進リーダー会議と共同し、子どもの学びと機器の活用方法について議論を深め、意見を交流することができました。</p> <p>「豊かな心」については、各校において年間授業時数の確保を行うことについては、概ね達成できました。深い学びにつながる授業の質的向上が今後の重点課題と捉えています。</p> <p>「健やかな体」については、国や府から提供された資料を確実に市内に伝達することができました。また、大阪教育大学の協力を得て、新体力テストの正確な実施に努めました。今年度も体力テストの結果を分析し、市内に公表する予定です。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 3	教育機会の均等と確保
---------------	-------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもが教育を受ける環境を均等にするため、学校の適正規模・適正配置を推進します。
---------------------	--

活動目標
より良い教育環境と効果的な学校教育の実現を目指します。
教育環境の均等を推進し、安全・安心な教育環境を目指します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ○国分小学校・国分東小学校統合準備委員会を18回開催し、取組を進めました。 ○統合後の不安解消のため、学年間交流を28回実施しました。 ○備品の整理、移動とともに、トイレやスロープを整備しました。
<ul style="list-style-type: none"> ○通学区域審議会で出された懸案事項解消のため、都市デザイン部と連携し、通学路整備を進めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ、巻き看板の設置 ・路側帯の拡張とグリーンベルトの設置

達成目標
国分小学校・国分東小学校の統合を進めます。
統合により、遠方から通うことになる児童の安全な通学について取組みます。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年2月9日 閉校式典実施 ○令和2年3月31日 閉校 	A 達成
<ul style="list-style-type: none"> ○市内循環バスの利用 ○行事や緊急対応の際はタクシーチケット利用 	A 達成

総合評価・総括
<p>「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、子どもが教育を受ける環境を均等にするため、国分東小学校と国分小学校を統合しました。統合にあたって、最も心配されていた児童の安全と安心については、学校間での交流を重ねる中で、友だちが増えることを楽しみにする児童が増えてきました。児童の前向きな発言とともに、保護者の不安も減少しました。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 4	学習意欲の向上や確かな学力の向上
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ICT機器の導入と活用を図ります。
---------------------	-------------------

活動目標
小学校・中学校へのICT機器の導入を進めます。
導入したICT機器の活用を図ります。

具体的な取組実績
小学校・中学校のパソコン教室のパソコンと校務用パソコンを入れ替えました。
4月にICT活用推進準備委員会とICT教育推進リーダー会を立ち上げ、機器導入前から先進市を視察する等、活用のイメージを共有しました。導入後の9月以降も、ICT教育推進リーダーが中心となって各学校にて機器を活用した実践を重ね、会議で互いに交流したことをはじめ、「広報かしわら」に実践例を2回掲載しました。

達成目標
小学校・中学校のパソコン室のパソコンおよび教職員一人1台のパソコンを新しいものに入れ替えます。
導入したICT機器の活用を推進するための研修を実施します。 また、校内研究授業を行います。

達成状況	達成度
小学校・中学校のパソコン室のパソコンおよび教職員一人1台のパソコンを新しいものに入れ替えは完了しました。	A 達成
導入後の8月にはまずプログラミング教育に関する研修を実施し、9月からは各校において学習支援ソフトに関する研修を2回実施したことをはじめ、同時に導入した統合型校務支援システムについての研修も全校で複数回実施し、有効な活用にむけて取組みを進めました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>機器の導入については、計画通りに進捗しました。次年度以降も国の「GIGAスクール構想」に基づき、国が示すロードマップを基本に導入を進めていきます。</p> <p>活用方法については、研修等を実施しながら学力向上をめざし、新学習指導要領に沿った「主体的・対話的で深い学び」をICTを活用しながら実践していくことが次年度の重点課題です。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 5	安全、安心な教育環境の整備
---------------	----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもたちが安全で安心な環境で学び、生活できるよう教育環境の質的向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
小学校8校の普通教室に空調設備を設置します。
国分中学校グラウンドの整備工事を進めます。

具体的な取組実績
小学校8校の普通教室への空調設備設置工事を行いました。
国分地区会や住民説明会などを実施し、準備工事が進行中です。

達成目標
小学校8校の普通教室への空調設備の設置を完了します。
国分中学校グラウンドの第1期分整備工事を完了します。

達成状況	達成度
小学校8校の普通教室への空調設備の設置が完了しました。	A
	達成
国分中学校グラウンドの工事工程に基づいた第1期分整備工事については完了しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>小学校8校への空調設備設置工事が完了することにより、柏原市立小学校・中学校の普通教室全室に空調設備の設置が完了します。</p> <p>国分中学校グラウンド整備工事につきましては現在準備工事を行っており、令和2年度には本格的な整備工事を開始します。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 6	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会を提供します。
--------	-----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①子どもが学校生活以外の場で家庭や地域社会との関係が深まるよう、青少年健全育成の取組みを行います。 ②子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため、生涯学習事業の充実に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
青少年の健全育成活動として、通学時の見守り活動や放課後子ども教室(のびのびルーム)の開催、自然体験施設等を活用し、市民の生涯学習の充実に努めます。
学校以外で楽しく学ぶことのできる青少年講座を開催し、学べる機会を増やします。
公民館や図書館、歴史資料館等を活用し、市民の生涯学習事業の充実に努めます。

具体的な取組実績
766人の登録ボランティアによる通学時の見守り活動を実施しました。 放課後子ども教室(のびのびルーム)は、計192回開催しました。 「楽しく学ぶ防災教室」を自然体験学習施設において44人の参加者を集め実施しました。
青少年講座【釣り入門講座6回、科学講1回、歴史講座1回、昆虫観察講座3回、星空観察講座2回及びハンドクラフト(革細工)講座1回】を計14回開催しました。 対象者は小学1年生～中学3年生で計315人でした。
歴史資料館では、企画展を4回、文化財講演会を2回、市民歴史大学を4回、体験講座を2回開催し、講座を4講座開講しました。 公民館(本館・分館)の利用案内パンフレットを公共施設に配架し、市民の皆様には貸館案内の周知を図り多くの方に利用して頂けるよう努めました。

達成目標
市民意識調査の「青少年の健全育成」「生涯学習」の満足度を高めます。
子どもたちの学べる機会を増やすため、地元大学の協力を得て青少年講座を増やします。
公民館や図書館、歴史資料館等の利用人数を増やします。

達成状況	達成度
市民意識調査のうち「青少年の健全育成」の満足度は3.38となり満足度が前回調査より0.03ポイント上昇しました。	B 概ね達成
青少年講座の開催回数につきましては、前年度と同数となりました。講座の参加人数は、昨年度より136人増加し、315人の参加がありました。	B 概ね達成
図書館の利用者数と貸出冊数 貸出人数112,638人、図書貸出冊数412,238冊 「お話し会」などのイベント参加者数5,109人 歴史資料館では、企画展を4回、文化財講演会を2回、市民歴史大学を4回、体験講座を2回開催し、講座を4講座開講 公民館(本館、堅下分館、国分分館)の利用者数は、52,513人(R2、1月末現在)、市民文化祭(10月5～20日開催)9,730人の参加をいただきました。	B 概ね達成

総合評価・総括

青少年の健全育成を図るためには学校教育のみならず、社会教育についても非常に重要であると考えております。今回の市民意識調査では昨年度より満足度が上昇しましたことから、引き続き市民のニーズに合う青少年講座等を開催するとともに、今後とも児童や生徒たちが地域と密接につながるよう、社会教育関係団体と連携を図りながら、生涯学習に対する意識の向上に努めてまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 7	誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。
--------	-------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツを親しめる機会の充実に努めます。
---------------------	--

活動目標
<p>体育館やサンヒルスポーツセンター、堅下北スポーツ広場などのスポーツ施設を運営し、市民に身近でスポーツに親しめる場所を提供します。</p> <p>また、誰もが参加できる「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催します。</p> <p>さらに、柏原の自然を活かしたカヌー教室を開催します。</p>

具体的な取組実績
<p>市民に身近でスポーツに親しめる場所を提供するため、平成31年4月1日から、グラウンドと多目的広場を有する堅下北スポーツ広場を新たにオープンさせ、令和2年2月末現在で18,438人の利用者がありました。</p> <p>また、「スポーツフェスティバルin柏原」には3,620人が来場され、参加者が各種スポーツに親しまれました。</p> <p>「柏原シティキャンパスマラソン」には、820人のランナーがエントリーされ、大阪教育大学内のアップダウンの激しいコースに挑戦されました。</p> <p>さらに、今年度は新たに大和川でカヌー教室を開催し、柏原市の豊かな水辺の自然を水上から体験していただきました。</p>

達成目標
<p>市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。</p>
<p>(新規)カヌー体験教室を開催します。</p>

達成状況	達成度
<p>市民意識調査のうち「スポーツ振興」の満足度は3.27となり、満足度が前回調査より0.03ポイント上昇しました。</p>	<p style="font-size: 2em;">B</p> <p>概ね達成</p>
<p>カヌー教室を開催し、16名が参加され、参加者から好評を得ました。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

総合評価・総括
<p>本年度は、市民が身近な地域でスポーツやレクリエーションを楽しめるように、堅下北スポーツ広場をオープンさせ、多くの方に利用していただきました。</p> <p>また、大和川にてカヌー教室を開催し、スポーツを通じて柏原の水辺の自然を体験していただきました。</p> <p>市民意識調査では「スポーツ振興」の満足度は高まりましたことから、次年度もカヌー教室を行うと共に、堅下北スポーツ広場をより利用し易くするため、開場時間の延長を行ってまいります。</p>